



●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●

姉妹都市

— 世界は君を待っている —

Sister Cities

 サーモンアーム

No. **18**
2012. 12



主な内容

稲敷市親善大使海外派遣事業に参加して
サーモンアーム使節団受入れ事業に参加して
第1回稲敷市姉妹都市交流委員会懇談会
ホストファミリー募集のお知らせ

○姉妹都市交流事業（海外派遣・受入れ）の詳細は稲敷市 HP <http://www.city.inashiki.lg.jp/>
（市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業）

○稲敷市姉妹都市交流委員会 会員募集！問い合わせは企画課内事務局へ：029-892-2000

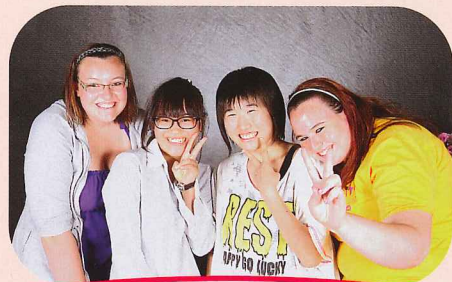


つないだ交流のありがたさ

団長 糸賀 勝示

体調を崩す人もなく、天候にも恵まれ、英会話の力が及ばないにもかかわらずそれを補ってくれるサーモンアームのみなさんの気遣いで、楽しく活発な交流ができました。これは旧東村時代に始まり、20年以上の歴史があるからこそだと理解しています。今までこの交流に関わってきたみなさんのご尽力に感謝申し上げます。派遣者全員が、言葉の違い、文化の違い、生活の違い、風土の違いを肌で感じながら心に残る貴重な体験となりました。

ナンシー市長夫妻と共に



🇨🇦 ホストファミリーと対面



🇨🇦 コロンビア大氷原

萩原 宗汰

このホームステイに行けると決まった時はとても嬉しかったです。それと同時に不安もありました。ですが、ホストファミリーの人たちはみんな優しく積極的に日本語で話しかけてくれたのでとても安心しました。ぼくは、この経験をこれからの人生に生かしていきたいと思います。

派遣時の主なスケジュール

- ・歓迎式
- ・「友情の門」見学
- ・高校訪問
- ・ラフティング
- ・ミニゴルフ
- ・ハウスポート
- ・さよならパーティ
- ・パンフ観光
- ・コロンビア大氷原観光

不安から安心、そして絆

ー派遣事業に参加してー

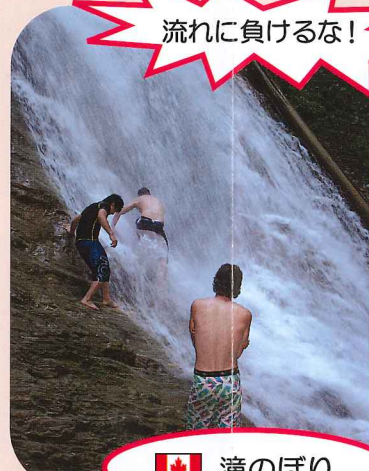
派遣(H24.8.18~8.28)

第6回 稲敷市親善大使海外派遣団名簿

団長	糸賀 勝示(沼里小校長)		
親善随員	塚本みち子(姉妹都市交流委員会)		
指導員	黒田喜美子(あずま南小教諭)	大木 歩(あずま北小教諭)	
団員	木内 茜里(中2)	大谷みなみ(中2)	浅野 友里(中3)
	江寺 理紗(中2)	海老原 葉(中2)	伊藤 幹太(中3)
	萩原 宗汰(中3)	手塚 葉(中3)	黒田 多笑(中2)
	清原佑梨乃(中1)	朝日向千明(中1)	飯塚 百花(中2)
			小貫 泰典(高1)
			山口あかな(中2)



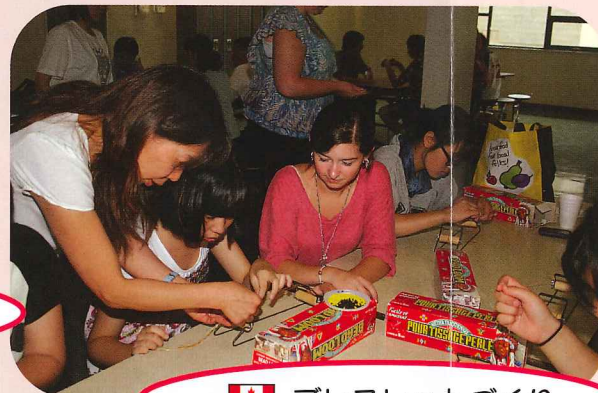
🇨🇦 友情の門前で



🇨🇦 滝のぼり



🇨🇦 さよならパーティ



🇨🇦 プレスレットづくり

江寺 理紗

私は、今回初めて海外に行きました。なので、楽しみな反面、すごく不安がありました。しかし、カナダのみなさんは私達のことをとても温かく迎えてくれたし、日本語もすごく上手だったので安心しました。ホームステイ中は毎日が楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。私はこの貴重な体験を通じて、少し成長することができたと思います。

言葉の壁を越えて、素敵な1週間

ー受入れ事業に参加してー

受入れ(H24.3.25~4.1)

第6回 受入れホストファミリー名簿

浅川 秀良(高2)	大徳 礼夏(高1)	木内 茜里(中1)
窪井 千夏(中1)	増田 紫乃(高1)	朝日向優花(中2)
笹本 萌(高2)	水飼 理子(中2)	高野 真優(高2)
		※学年は受入れ当時
井戸賀吉男(一般)	吉田 薫(一般)	岡野福次郎(一般)
矢崎 克実(一般)	石井 道朗(一般)	



🇨🇦 久しぶりの再会！



🇨🇦 笑遊館にて



🇨🇦 中学校交流会
剣道体験



🇨🇦 さよならパーティ



🇨🇦 茶道体験



受入れ時の主なスケジュール

- ・対面式
- ・中学校交流会(江戸崎中学校)
- ・市内、牛久阿見研修
- ・東京一泊研修
(東京ディズニーシー
東京タワー、江戸東京博物館)
- ・さよならパーティ

窪井 千夏

彼女を受け入れた時、人見知りだった私は、積極的に話しかけることができなかった。そんな私を見て彼女は「もっと自信を持って」と言ってくれた。私はこの言葉を言われた日から電子辞書を使って、自分から積極的に話すようになった。言葉の壁を気にして会話をためらっていた時よりも、自然に柔かい笑顔で喋ることができるようになっていた。きっと彼女のあの言葉がなかったら、私は積極的に会話をすることができなかったと思う。私に言葉の壁を越えて、大切なことを教えてくれた彼女に大きな感謝の気持ちを表したいと思う。

823の重みを噛締め

姉妹都市交流委員会

会長 石井 道朗

前会長吉田多嘉子氏の後、会長を拝命しました。日頃、皆様には、当交流委員会の運営にご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

お蔭様をもちまして、カナダ・サーモンアーム市との交流も第1回（東村の派遣）から数えて22年目を迎え、派遣者総数384人、受入れ者総数439人になりました。

この間、交流体験を進路学習や英語学習のレベルアップ等に生かしたという事例から、手前味噌ではありますが、所期の目的が達成されてきているのではないかと思います。

今後、さらに、委員会の継続・発展のために努力するとともに皆様方のご協力・ご支援をお願い申し上げます。



第1回姉妹都市交流委員会懇談会



10月28日、平成24年度稲敷市親善大使派遣団報告会並びに解団式が行われました。その終了後、派遣団員と交流委員会会員による懇談会が初めて開かれました。懇談会は、A、Bの2グループに分かれて実施されました。

Aグループの保護者からは、「派遣を通して、子どもの変化や成長が見られた」「この交流事業をずっと続けてほしい」といった意見が出されました。また、団員からは、「海外が身近になった」「すぐに仲良くなった」などの感想がありました。



Bグループの保護者からは、「妹もぜひ行かせたい」「向こうで学んだことを還元してほしい」といった声がありました。また、団員からは、「ハウスボートが楽しかった」「英語が好きになれたと思う」など、意見が交わされました。



ホストファミリー募集のお知らせ

姉妹都市「カナダ・サーモンアーム市」からの使節団が、平成25年3月24日(日)～3月31日(日)の1週間、来市します。団員の子供達をホームステイさせていただける「ホストファミリー」を募集します。受入れに際しては、特に個室やベッド、洋食などを用意する必要はありません。一般的な日本家庭での生活体験を楽しみにして来ますので、気軽に友達として接してください。自宅にいながらにして身近な国際交流を体験できる絶好のチャンスです！

■募集要件

- ① メインホストとして受入れの期間中一緒に行動できる中学生～大学生がいること
- ② 受入れ協力(宿泊、食事などの提供)が可能なご家族
※1人につき25,000円の補助あり
- ③ 受入れ説明会及び英会話研修会に参加できること
※平成25年2月17日(日)江戸崎公民館
午後1時30分から

■募集人数 約10人を予定

■申込方法 平成25年1月8日(火)までに稲敷市役所
企画課:029-892-2000へお申込みください。

INFORMATION

○会員募集！あなたも国際交流しませんか？

・姉妹都市交流委員会

親善大使派遣事業、使節団受入れ事業など稲敷市の実施する姉妹都市(サーモンアーム市)との幅広い活動に協力し、民間交流活動を展開しています。

問い合わせ・申込みは企画課内事務局：029-892-2000 まで

○稲敷市ホームページをご覧ください

この姉妹都市交流事業(海外派遣・

受入れ)の詳細は稲敷市HP

<http://www.city.inashiki.lg.jp/>

(市政→プロフィール→姉妹都市・

国際交流事業)内に掲載されております。

親善大使派遣、使節団受入れの募集についても、公募しております。



青少年親善大使 カナダ・サーモンアームへ

市では毎年夏に青少年親善大使として、カナダ・サーモンアーム市へ稲敷市在住の中学生・高校生を派遣しています。1週間のホームステイを通じ、海外での家庭生活や大自然の迫力を体験します。募集は5月頃を予定しています。詳しくは稲敷市役所企画課へお問い合わせください。

交流委員会広報委員

山本 彰治(委員長)、戸澤 公子(委員)、高木 由美子(委員)

編集後記

今回派遣された団員の皆さんは、いつまでも色鮮やかに残るものを手に入れました。それは限りなく大きな財産になるでしょう。今しかできないかけがえのない「一步」を踏み出した若人の、限らない可能性がまた楽しみです。(山本)

編集：姉妹都市交流委員会広報委員
稲敷市役所企画課